

4月 1日～15日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
08/04/01 (火)	東京は日銀短観が予想を下回ったことに加え東京株式市場が堅調に推移したことで円売り優勢。欧米は主要株式市場が堅調に推移したうえ発表された米経済指標が良好でドルの買い材料に。	・日銀短観大企業製造業DIは11 ・3月の独失業率7.8%、同失業者数増減 5.5万人 ・3月の米ISM製造業景気指数48.6、2月の米建設支出 0.3%	・UBSが190億SF追加損失計上との報道あり ・ドイツ銀行が25億ユーロの追加損失を発表 ・リーマンブラザーズが増資額を40億ドルに引き上げとの一部報道	99.78 102.16 99.59 101.87	157.24 159.23 156.34 159.07	寄付 安値 高値 終値
08/04/02 (水)	東京は日経平均が500円以上もの急伸したことで円全面安の様相。ドル/円は102円台へ。欧米は全米雇用報告が予想よりも好数字でドル買い優勢。しかしFRB議長発言が上値をキック。	・3月のADP全米雇用報告8千人、2月の米製造業受注 1.3%	・EU関係筋「G7でユーロ高への懸念を表面するように働きかける」 ・FRB議長「米経済、リセッション入りの可能性がある」 ・IMF専務理事「円と人民元は過小評価」	101.53 102.84 101.50 102.35	158.57 160.74 158.55 160.56	寄付 安値 高値 終値
08/04/03 (木)	東京は日経平均が続伸したこともあり引き続き円売り優勢。しかし103円レベルは底堅くドル上げ渋り。欧米は前日までと一変し発表された米経済指標が冴えず、ドルは小安く、結果行って来い。	・3月の米ISM非製造業景気指数49.6	・米財務長官「人民元上昇は痛みもともなうが中国にとって有益」 ・NY連銀総裁「ヘアーが破綻すれば深刻な事態を招きかねなかった」 ・FRB議長「ヘアーへの資金供給は市場への大打撃回避が狙い」	102.23 102.95 102.07 102.26	160.26 161.07 159.29 160.38	寄付 安値 高値 終値
08/04/04 (金)	東京は夜半の米雇用統計発表を控え売り手控えムードとなるなか需給要因などから円が冴えない。欧米は発表された米経済指標が要素を下回る悪化となり米追加利下げ観測が台頭。ドル売りが好。	・G7各国中銀が協調して投資家に流動性供給 ・3月の米失業率5.1%、同非農業者雇用数 8万人 ・英系銀に追加損失、経営不安の噂	・メルギー財務相「ユーロは最優先懸念ではない」 ・ECB総裁「米国の強いドル政策を評価」 ・蘭財務相「ユーロ圏経済第2四半期減速予想」	102.42 102.70 101.45 101.48	160.39 161.10 159.64 159.72	寄付 安値 高値 終値
08/04/07 (月)	東京はFT紙報道などが好感される格好で信用リスクの後退観測から円高を含め円全面安優勢。欧米はNBER所長の発言や米株が伸び悩んだことから流れが一変しドル売りが優勢。	・FT紙「IMFが各国政府に住宅市場への介入要請か」 ・2月の景気先行指数50.0% ・政府が白川日銀副総裁の総裁、渡辺前財務官の副総裁昇格を提示 ・2月の米消費者信用残高52億ドル	・独財務省「口先介入はほとんど効果がない」 ・フェルドスタインNBER所長「米経済は1月から景気後退入りしている」 ・仏経財相「G7で市場安定や為替に関する包括的な提案希望」	101.64 102.85 101.62 102.40	159.90 161.47 159.82 160.88	寄付 安値 高値 終値
08/04/08 (火)	東京は日経平均が弱含みとなったうえ、米財務長官発言から円買い先行。円高を含めて全面高。欧米はFOMC議事録の弱さが嫌気されドル売りが優勢となったものの、株価が下げ渋ると結局ドルは高値引け。	・2月の米住宅販売保留 1.9% ・3月FOMC議事録「一部メンバーは長期に及ぶ深刻な景気低迷の可能性は排除できないと指摘」	・米財務長官「米政府は住宅問題で大規模な介入を行わない」 ・OPEC議長「増産は必要ない」 ・シロ独財務次官「G7で為替が議題となる」	102.53 102.69 101.76 102.66	161.06 161.75 160.48 161.30	寄付 安値 高値 終値
08/04/09 (水)	東京はWSJ紙報道からドル高へ振れるもS&Pの報道から流れ一変、円高でユーロズ。欧米は米利下げ見通しが台頭したこともありドルが冴えない。ドル/円は101円台へ。	・WSJ紙「シティGが120億ドルのレバレッジローンを売却へ」 ・S&Pが米住宅ローン保証会社4社を格下げ ・日銀が全員一致で金融政策維持決定	・日銀総裁代行「下ぶれリスクが顕在化するのだから良く見極めたい」 ・UAE「ドルバグ制維持決定」 ・ダラス連銀総裁「住宅市場はまだ最悪期に達していない」	102.73 102.84 101.50 101.80	161.26 161.48 160.61 161.16	寄付 安値 高値 終値
08/04/10 (木)	東京はMASの発表に加え、人民元が初の6元台を示現したことで円が連れ高。一時100円台も。欧米は円は続伸でスタート。しかし米株が堅調に推移したことを受けて基調が転換。ドル/円は高値引け。	・2月の機械受注 12.7% ・BOEが0.25%の利下げ動意 ・ECBが金利据え置き決定 ・南アが0.5%の金利引き上げ動意 ・2月の米貿易収支 623億ドル、対日68.7億ドル、対中183.5億ドル	・MAS「シンガポールドルの許容変動幅の中央値を引き上げへ」 ・ECB総裁「中期的な物価安定維持が我々の主要目的」 ・米財務長官「米景気は急激に悪化、リスクは依然下向き」	101.77 102.05 100.03 101.94	160.98 161.08 158.80 160.48	寄付 安値 高値 終値
08/04/11 (金)	東京は株式市場が堅調に推移したこともあり円が売られやすい。円高を含めて円は独歩安の様相。欧米はG7会合待ちで全体的に動意薄。ただ米経済指標の悪化で一転ドル売りが進む。	・4月のシンガポール消費者信頼感指数63.2	・全米経済研究所所長「ドルはさらに下落する必要がある」 ・独連銀総裁「ECBに利下げの余地なし」 ・G7当局者「G7声明は米経済に関し一貫して悲観的な表現になる」	101.70 102.28 100.64 101.00	160.25 161.36 159.36 159.68	寄付 安値 高値 終値
08/04/14 (月)	東京はG7声明を受けてドル高でスタート。しかし日経平均が400円以上下落したこともあり、流れが一変。欧米は円続伸、ドル/円は100円前半へ。しかし米指標の良好さや米株価底堅さからドル反発へ。	・G7声明「過度な為替変動を懸念」(4年ぶりの文言変更) ・WSJ紙「ドイツ銀行が200億ドル規模のLBO関連債券の売却で協議中」 ・3月の米小売売上高0.2%、2月の企業在庫0.6%	・メルギー中銀総裁「年内にユーロの利下げはない」 ・仏中銀総裁「ユーロやその他通貨は異常に高くドルは弱い」 ・仏経財相「G7声明の為替表現はこれまでと明確に異なる」	101.15 101.51 100.30 101.10	158.93 160.10 158.25 160.07	寄付 安値 高値 終値
08/04/15 (火)	東京はレンジ内での揉み合い、株価をにらみつつ一時ドルが続伸するも終わってみれば行って来い。欧米は米経済指標が予想よりも良好でドル買い材料。一方、独経済指標は悪く、ユーロは対ドルで冴えない。	・4月の独ZEW景況感指数 40.7 ・3月の米PPIは1.1%、4月のNY連銀製造業指数0.6、同NAHB住宅市場指数20、2月の対米証券投資641億ドル	・白川日銀総裁「景気が大きく落ち込む局面にはない」 ・ギリシャ中銀総裁「インフレの上昇は一時的なものではない」 ・ドゥッヘルゲレ ECB理事「ユーロ圏のインフレは明らかに上向き」	101.10 101.84 100.80 101.83	159.99 160.84 159.69 160.84	寄付 安値 高値 終値

* ご質問などはEメールにてお願い致します。アドレス info@fx-newsletter.com まで